

# 庁議の概要

開催日 平成21年4月3日(金)

## 項 目

- 1 「各部局における今年度の取り組み方針・抱負」について【各部局】
- 2 2009年度予算「上半期に8割超発注」への対応について【総務部】
- 3 政策の広報体制の整備について【総務部】
- 4 その他

## 内 容

- 1 「各部局における今年度の取り組み方針・抱負」について【各部局】

各部局より、今年度の取り組み方針・抱負について発言後、意見交換を行った。

### 【概要説明】

- ・教育委員会では、昨年緊急プランを作った。今年度は計画を達成する鍵になると思っている。(教育委員会)
- ・今年度は実行元年なので全力をかけて頑張りたい。特に財政面ではこまめに相談してほしい。(総務部)
- ・引き続き県民の安心安全の社会基盤づくりの推進を基本方針とした取り組みを進める。特に、南海地震対策では、応急対策行動計画、広域受援計画を具体的で分かり易い実効性のあるものにしていくため、全力で取り組みたい。(危機管理部)
- ・今年度、健康政策部と地域福祉部に分割をされたが、それぞれが専門性を生かし、深めながら連携をして、総合力を発揮していけるように取り組んでいきたい。(健康政策部)
- ・医療センターの経営改善という特命であり、限られた時間しかない。県民の命、医療を守るということを基本としていきたい。(理事(医療センター担当))
- ・必要なサービスが受けられない中山間地域が多い。「あったかふれあいセンター」を通じて、地域の方々にも参加してもらうような、支え合いの仕組みができるようにしたい。また、児童福祉の点では、体制も充実したので、的確にスピード感を持って進めていきたい。(地域福祉部)
- ・文化生活部はこの4月に新設され、その分野は広いが、県民生活をより良くするという一点で横軸を通し、一体感を高めて取り組みを進めていきたい。(文化生活部)
- ・(産業振興計画の着実な実行に向け)4月1日に産業振興推進本部を立ち上げ、関係部局には細かなスケジュールを含め説明させてもらった。4半期ごと、議会ごとに状況を説明していく必要があるため、できるだけ計画を前倒ししていくつもりで取り組んでいきたい。(産業振興推進部)
- ・来年4月のアンテナショップのオープンに向けて、関係団体の協力も含め、各産業部局との連携が必要となる。よろしく願いたい。(産業連携推進官)
- ・幸い「ですか」も追い風になっており、今年を交通元年にしたいと思っている。また、観光二次交通については、龍馬伝に向け、早めの仕組みづくりに取り組んでいく。(理事(交通運輸政策担当))
- ・産業振興計画という攻めの部分と、雇用を守るという守りの部分の両面に力を注いでいきたい。キーワードは「連携」だと思っている。産業振興センターをはじめ、各機関等との連携も一生懸命やっていきたい。(商工労働部)
- ・厳しい経済状況の中、観光分野は重要な位置づけになってくるので、観光八策を的確にスピード感を持って進めていきたい。特に来年1月の大河ドラマに向けて、「土佐・龍馬であい博を契機に高知の景気が変わった」というような結果につなげていかなければならないと思っている。(観光振興部)
- ・環境という新しい部が統合され、産業振興計画と環境基本計画の2つを実行していくということが基本となる。また、林業、環境ビジネスの振興に取り組むことで、雇用の場、雇用の機会の増大を図っていくことを大きな目的にしていきたい。(林業振興・環境部)
- ・漁業従事者の所得アップに尽きると思う。そのための仕込みは昨年1年間してもらっているので、私の使命はそれを実行していくことだと思っている。(水産振興部)
- ・昨年1年かけて県内一円まわったが、どこも社会整備で満足するものがないという状況だった。計画があっても予算がつかずに計画倒れになっているところが多い。今年は補正予算が大幅につく見込みであり、着実に進める第一歩になるのではないかと考えている。(土木部)
- ・実行元年を下支えするセクションとして、局をあげて研修の充実や実施に即した支援を強化し、公金の適正な執行管理の一層の徹底に取り組んでいきたい。(会計管理局)
- ・当面の課題である新しい安芸病院の整備に向けて、医師の確保や病院長の決定などを含めて全力で取り組みたい。(公営企業局)

- ・監査の役割は、県行政の効率性、公正性を確保することであり、その役割を十分に果たすためには、監査する側とされる側が理解をし合って、ともに良くする姿勢が必要である。そのことを職員にも浸透してもらいたい。(監査委員事務局)
- ・県民の安心・安全を守るという、その一言に尽きる。当県の犯罪は、少年犯罪、高齢者が被害者となるもの、また高齢者が起こす犯罪が多いことが問題となっている。これらの問題を皆さんと一緒に協力しながら解決していきたい。(警察本部)
- ・国は追加の経済対策もかなり大きな規模で考えているようなので、本庁との情報交換を密にしていきたい。特に、市町村や地域の声を永田町や霞が関に届けるための努力をしていきたい。(理事(東京事務所担当))
- ・本庁にとって使い勝手のよい東京事務所を目指したい。東京事務所で情報収集に努めて本庁に返していくので、ぜひリアクションと指示をお願いしたい。(東京事務所)

(知事)

- ・今年度初庁議ということで、庁議メンバーには3点お願いをしたい。
- ・1つ目は、マスコミをうまく活用するというのを今年の大きなテーマにしてもらいたいということである。「現場に足を運ぼう」「汗をかこう」というときに、始めからある程度県民の皆様には理解があるのと、全く初めてというのでは全然違ってくる。これは、現場で頑張っている出先機関の職員や地域支援企画員、地域産業振興監を本庁がバックアップすることにもなる。
- ・記者発表をするときも、投げ込みではなくて記者会見をするとか、夕刊を狙って朝の10時くらいに記者会見をするとか、ちょっとした工夫の積み重ねが大きな違いを生み出してくる。
- ・(県の)テレビ・ラジオ番組も増やすし、「さんSUN高知」は全戸配布されるので、これらもうまく使ってもらいたいし、ネットについては、よく見ておられる世代もあるので県ホームページの「政策トピックス」などにも手を挙げてもらいたい。
- ・2つ目は執行管理について、実行段階となる今年度、松下幸之助さんの有名な言葉「任せて任せず」のように、大いに皆さんに任せていきたいが、その分執行管理については手綱を引き締めていきたいと思っている。進捗状況についてはこまめに教えていただきたい。
- ・3つ目はこの庁議の場を、政策的に訴えていきたいことをどんどん出してもらって、実のある議論のできる場として活用してもらいたいということである。トップレベルで一定の方向感が出ていけば職員も仕事がしやすい場合も多いのではないかと思う。

2 2009年度予算「上半期に8割超発注」への対応について【総務部】

【説明概要】

- ・3月30日に行われた自民党日本経済再生戦略会議で中間とりまとめが行われたが、その中で、平成21年度予算について、過去最大級の前倒しの執行を目指して、上半期に8割超を発注すべきの方針が示された。
- ・高知県としては、繰越は原則100%、現年は可能な限り前倒しして執行することを基本方針とするが、その上で、各関連部局には発注目標を設定してもらいたいと考えている。

【主な意見】

- ・前倒しの発注率は、定性的なものを想定しているのか。  
上半期に前倒しして執行することが適当でない事業や、年度後半に発注せざるを得ない事業などは切り離すという整理をして具体的な目標を立ててはどうかと考えている。事前に調査し、協議をしながら決めていきたい。

3 政策の広報体制の整備について【総務部】

【説明概要】

- ・今年度の広報として、従来のテレビ・ラジオ番組に加え、特別番組を編成し、重要テーマに絞って重点的に広報していく予定としている。また、これまでは短時間のお知らせ的な番組内容だった週2回のラジオを1番組当たり15分に延長することとなったので、知事をはじめ、各部局長や産業振興推進監などにも出演してもらい、アナウンサーとフリーで話すことで、県民の皆様に分かりやすい広報ができるようにしていきたい。
- ・知事が語るというスタイルで昨年11月から県ホームページに掲載をしている「政策トピックス」は、県ホームページのリニューアルに合わせ、トップページにタイトルを載せている。これまで以上に県民の皆様目に触れる機会が増えたので、積極的に題材を提供してほしい。

4 その他

危機管理部から、風水害・地震時の、段階に応じた県の配備体制について説明があった。